

院長	副院長	副院長	事務部長	看護部長	主査

第 70 回 地域協議会（地域医療支援委員会）概要

【日 時】令和 7 年 3 月 6 日（木）19：00 開始

【場 所】人吉医療センター3 階講堂、オンライン

【出席者】友永 和宏 （人吉市医師会会長）
瀬戸 弘 （人吉市歯科医師会）
山村 礼二 （球磨郡歯科医師会）
河内 謙介 （西諸医師会理事）
寺田 歩 （伊佐市医師会理事）
村田 圭介 （人吉球磨薬剤師会会長）
木脇 弘二 （熊本県人吉保健所）
寺岡 公美 （伊佐市保健課長）
瀧田 尚史 （人吉市教育委員会）
薬師寺 俊剛 （人吉医療センター院長）
牟田 大助 （人吉医療センター副院長）
石神 哲郎 （人吉医療センター歯科口腔外科センター長）
告吉 ゆかり （人吉医療センター看護部部長）
山脇 淳 （人吉医療センター事務部長）
花田 浩二 （人吉医療センター総務企画課）
久保田 智子 （人吉医療センター診療情報管理室）
山田 一裕 （人吉医療センター医療福祉連携室）
田頭 隼人 （人吉医療センター医療福祉連携室）
【欠席者】高森 啓史 （公的病院企業長）
近藤 浩之 （球磨郡医師会理事）
松尾 美紀 （人吉市健康福祉部部長）
井手平 慎一 （えびの市健康保険課課長）

（敬称略 計 22 名）

【資料概要】

一、開会

二、議長挨拶

三、議題

①当院の入院患者における紹介の状況

人吉医療センター 診療情報管理室 久保田 智子

1、紹介元 医療機関別件数の推移

2、紹介先（転院先）医療機関別件数の推移

※別紙参照

意見

薬師寺議長：「登録医の先生方からの紹介数が年々増加傾向。約半分が紹介により入院となっている。紹介なしが半分（継続治療の方や選定療養費の方など）。選定療養費の方で病院の方針で費用を取られると認識されている場合があり、“病院が来ないで欲しいと言われている”と思われている方がいる。そのため、選定療養費について国の政策として、実施していることを住民の方によく周知する必要があるのではないか。」

②JCH0 人吉医療センターの年末・年始受診者について

熊本県人吉保健所 木脇 弘二

JCH0 人吉医療センター（HMC）の年末・年始受診者について

（2024 12/28 ～ 2025 1/5）

※別紙参照

HMC 救急外来の受診データを見える化にして、報告あり。

救急外来受診の内訳で、肺炎、尿路感染症、インフルエンザ、**covid-19** 等が4割を占めていた。診断名だけでは判断できないが、必ずしも高度救急病院ではなくても一定数含まれているのではないかと思われ、今後、このようなデータを地域の先生方と共有して、長期連休などの救急対応の協力、調整のお願いをしていきたい考えを述べられた。

意見

薬師寺議長：「熊本市の医療機関でも年末のインフルエンザ患者の受け入れ先が見つからず、阿蘇の医療機関で受け入れされたという症例が数件あったとの報告あり。年末は熊本市内の病院でも大変な状況にあった。当院でも年明けに病床が逼迫する状況があり、一時、宮崎・鹿児島の受け入れを控える意見もあがるも、どうにか踏み止まったが、一部の救急患者を他の医療機関へ搬送をお願いする事例があった。当院の救急が逼迫した背景から医師会の当番医の受け入れ改善をお願いできないか？また、来年度4月からの休日当番が2病院から1病院へ減少されるとの情報あり。1病院になった場合の当番医の機能をどのように保たれるのか？」

友永議員：「1病院になった場合に状況次第では外山胃腸病院、球磨病院、愛生記念病院へお願いすることになっている。

また、スタッフ不足で対応しきれない所があるが、可能な限り、救急病院に迷惑をかけないように医師会としても頑張って対応する。」

薬師寺議長：「救急病院としてもスタッフ不足は同じ状況で、看護師も募集をしても入ってこない現状。当番医師以外の医師を急遽出勤して対応した背景があるため、ぜひ、他の救急を受け入れされる病院にもご協力をお願いしたい。また、長期休暇の時の当番医の再考をいただきたい。」

医師会に対して長期連休などの救急対応の協力当番医へ依頼あり

四、意見交換

①地域の薬剤状況について（前回以降の報告）

村田議員：抗生剤、去痰剤、咳止め処方について

「月～金は各薬局が開いており、卸も開いているため、処方していただき、薬の在庫がない時には他の薬へ変更提案などを各薬局でされる。

土日祝日の当番薬局が救急病院から珍しいお薬の処方があった場合、揃わないことや取り寄せができないことが考えられる。現在では抗生剤（ピニシリン系、セフェル系は殆ど流通していない）、去痰剤、咳止め。

救急病院と救急病院の門前薬局や大きな病院へ優先して出荷されている現状がある。

そのため、土曜日、日曜日、祝日の抗生剤、去痰剤、咳止めに関しては、ある程度薬局から聞き取りをして提供できる薬を文章で送り、救急外来に貼

ってもらい薬の提案をさせていただきたい。」

「要望として、一部の先生で流通していない薬を見つけるまで探してほしいとの依頼が、出荷制限がかかっている薬については、薬局間での売買も難しく、薬を揃えることが難しくなるため、切迫品に関しては、(変更の)許可を出すことを病院の方針として、院内にアナウンスしていただきたい。抗生剤、去痰剤、咳止めに関しては選定に幅をもたしていただければ幸いです。なお出荷制限がかかっている薬については、薬局から HMC 薬局に対して情報共有をしていきますので、HMC 薬局から院内へ周知をお願いしたい。出荷先の調整が入っている。各薬局の在庫がタイムリーには把握できていない。」

②医療機関・介護施設の現状について

事務局：閉院や閉所される事業所が増えている現状。閉院予定の段階での情報がない。または入りづらい。

議員皆さんから持っている閉院等の情報を共有してもらい、その上でどのような対策ができるかを協議できればと提案。

意見

薬師寺議長：「行政機関への閉院する場合には届出はあると思いますが、閉院（噂の段階）で情報は入りませんか？」

木脇議員：「報告はない。廃止の届け出があった時に把握している。また、開設、廃止等については、集約化で人吉保健所ではなく八代保健所が管轄となり、さらに情報が把握しづらい現状にあります。」

薬師寺議長：「医師会内ではどうですか？」

友永議長：「次回から会員に問い合わせ、当会議で報告します。」

五、その他

事務局：次年度より消防機関などの参加を提案。

消防機関等の参加については、当議会の会則を確認の上、調整をすすめる。

また、来年度は、議員交代（選出）の予定（R7.4.1～R9.3.31）

事前に案内を行う予定。

六、閉会